

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成 27 年 2 月 1 日（現在）

計画の名称	土地の高度利用及び都市機能の更新による地域の活性化			
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	成田市	
計画の目標	既成市街地の質的改善を図るとともに防災性の向上等、土地の合理的かつ健全な高度利用を推進することにより、周辺地区の活性化を図る			

計画の成果目標（定量的指標）	都市機能が更新される周辺地区における空き店舗率を11%から9%へと改善させる。
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値	最終目標値 (H26末)							
	成田商工会議所が毎年調査している資料をもとに空き店舗率を算定する。 空き店舗率 (%) = 空き店舗数 (件) / 駅周辺地区の総店舗数 (件) × 100%	11%	-		9%					
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,469百万円	A	3,468百万円	B	0百万円	C	1百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	市街地	一般	成田市	直接	成田市	JR成田駅東口地区第二種市街地再開発事業	再開発 A=1.4ha	成田市						3,468	
合計													3,468		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	活動支援	一般	成田市	直接	成田市	再開発PR及び地区活性化	パンフレット作成（2000部）、勉強会の開催	成田市						1	
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
1-C-1	パンフレット等により事業に対するPR及び近隣の理解と協力を得られる。また既に地元に組織されている街づくり協議会と行政が問題意識を共有することにより、土地の高度利用が図られていない地区の開発を促進し、その波及効果により地域の活性化を図れる。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

<p>I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再開発事業による施設建築物（再開発ビル）の建設工事は完了し、駅前に相応しく高度利用が図られ、また防災性も向上した。</li> <li>再開発ビルの上層部には、住宅が建設されたため定住人口が増加し、それに伴い今後は周辺地区の活性化が見込まれる。</li> </ul>			
-----------------------------------	---	--	--	--

<p>II 定量的指標の達成状況</p>	<p>指標①</p>	<p>最終目標値</p>	<p>9%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	<p>・再開発ビルが竣工したが、周辺地区へ広く波及するまではもう少し時間がかかるものと推測されるため、目標値には届かなかった。空き店舗率は従前の空き店舗率より若干悪化しているのみであり、昨今の経済状況を考慮すれば、ほぼ横ばいという数値は評価できるものと考えている。</p>
		<p>最終実績値</p>	<p>13%</p>		
	<p>指標②</p>	<p>最終目標値</p>		<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	
		<p>最終実績値</p>			
	<p>指標③</p>	<p>最終目標値</p>		<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	
		<p>最終実績値</p>			

<p>III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>市の広報誌やホームページのほか、地元説明会を複数回開催しPR等を行った。</p>			
-----------------------------------	---	--	--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

<p>駅前広場や周辺の道路改良工事が引き続き行われており、早期の事業完了を目指す。</p>

# (参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 土地の高度利用及び都市機能の更新による地域の活性化		
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)	交付対象	成田市

